**顧客のプロジェクトの終了レポート**

手順: データサイエンスプロジェクトの終了基準のテンプレート。これは、各段階の詳細とラーニングを含むプロジェクト全体の概要を含んでいる簡潔な文書です。セクションが適用されない場合（例えば、プロジェクトに ML モデルが含まれていない場合）は、そのセクションを“該当なし”としてマークします。5-20 ページが推奨されるボリュームです。コードはほとんどコードリポジトリ内にある必要があります（このドキュメントではありません）。

顧客: <顧客名を記入>

チームメンバー：<チームメンバーの名前を入力します。また、チームリード、アカウントチーム、ビジネスステークホルダーなどの関係当事者名を入力してください>

**概要**

<ソリューション全体のエグゼクティブサマリー、簡潔な非技術的な概要>

**ビジネスドメイン**

<業界、顧客のビジネスドメイン>

**ビジネス上の問題**

<ビジネス上の問題と正確なユースケース、それが重要な理由>

**データ処理**

<元のデータセットのスキーマ、処理方法、モデルへの最終的な入力データスキーマ>

**モデリング、検証**

<使用されるモデリング技法、検証結果、検証の実施方法の詳細>

**ソリューション アーキテクチャ**

<ソリューションのアーキテクチャについて、これが実際に実装されたのか、もしくは、提案されたアーキテクチャなのかを、明確に説明します。同様のアーキテクチャを再現するための図と関連する詳細を含めます。このアーキテクチャが選択された理由と、該当する場合には、考慮された他のアーキテクチャの詳細を含める>

**ベネフィット**

<お客様の利益（ROI、貯蓄、生産性向上など）は何ですか？POCの場合、推定ROIは何ですか？正確なメトリックスが利用できない場合、なぜ顧客にインパクトがあるのでしょうか。>

**ラーニング**

**プロジェクトの実行**

<顧客エンゲージメントプロセスに関するラーニング>

**データサイエンス／データエンジニアリング**

<データサイエンスとデータエンジニアリングに関するラーニング、ヒント/トリックなど>

**ドメイン**

<ビジネスドメインについての学習>

**プロダクト**

<ソリューションで利用されるプロダクトとサービスに関するラーニング>

**このプロジェクトの特長、具体的な課題**

<具体的な問題やセットアップ、ユニークな事項、エンゲージメント中に対処しなければならなかった特定の課題、およびその達成方法>

**リンク**

<出版された事例研究などへのリンク。すべてのコードが格納されているgitリポジトリにリンクする>

**ネクストステップ**

<Next steps. These should include milestones for follow-ups and who 'owns' this action. E.g. Post- Proof of Concept check-in on status on 12/1/2016 by X, monthly check-in meeting by Y, etc. 次のステップ。これらには、フォローアップのマイルストーンが含まれ、このアクションを所有する人が含まれていなければなりません。例えば、 Xさんが12/1/2016にポストPOCのステータスをチェックイン、Yさんが、月次でチェックインミーティングを実施など>

**付録**

<関連性があると思われるその他の資料 - 非付録部分を 20ページ以下に保つようにする。しかし、必要に応じてさらに詳細を付録に含めることができる>